

令和7年度丹後PTA指導者研修会 報告



令和7年6月1日(日)、アグリセンター大宮において丹後教育局管内の幼稚園・こども園、小・中学校、府立学校のPTA・保護者会役員を対象に「令和7年度丹後PTA指導者研修会」を開催しました。講師には丹後「子育て」サポート協議会顧問で福知山公立大学地域経営学部 准教授の杉岡 秀紀様をお迎えし、「つながりと楽しみから考える子育ての未来」と題してご講演いただきました。

杉岡様には、丹後地域の具体的な人口増減の数値や高校生意識調査アンケートの結果などのデータを参考にしながら説明していただきました。そして、「子どもが安心して育つ環境づくり」を推進するためには、家庭・学校・地域が連携・協働して取り組むことが重要であることや、大人が地域で楽しむ姿を子どもたちに見せることも、地域づくりを進めるうえで大切であることを学ぶ機会となりました。

ワークショップでは、趣旨説明や講演を踏まえて「つながりと楽しみから考えるPTA×地域学校協働活動」について単位PTAを中心に協議しました。保護者、先生がPTA・保護者会として大切にしたいことを改めて共有できる有意義な時間となりました。

参加者を中心として、子育てや地域学校協働活動を生かした「子どもが安心して育つ環境づくり」の輪が、さらに広がっていくことを期待しています。

〈参加者感想より(一部)〉

講演

- ・楽しさとつながりというテーマの中で、たくさんの学びがある1日でした。大人も学び続け、子ども真ん中社会を実現し、自分がまず楽しみ、子どもや家族や、地域、周りの全ての人に対して笑顔で接すること、対話することをこれからも大切にしていこうと思いました。
- ・今、自分たちがやっていることを、言語化することで楽しんで活動していることを再認識出来ました。一緒に楽しみたい保護者をこれからも増やしていきたいです。
- ・市町の人口の推移や出生数など、実際に数字を見ると減少している事が明確で焦りさえ覚えました。現実を話題にした上で、課題解決に向けた考え方を知り、前向きな気持ちになりました。せっかくやるなら楽しんで保護者会と一緒に活動を進めたいと思いました。
- ・わが子に自分の背中からこの地域のことをどう感じているか振り返る時間になりました。“子育て”今からできること考える時間になりました。
- ・PTA活動を通じて多くの学びがあります。自分の中で義務、我慢、犠牲の3Gではなく子どもたちのため、学校のため、地域のためになるよう活動していきたいと思いました。



ワークショップ

- ・こうしたい、ああしたい。ふわふわしている考えを言葉に出して、ディスカッションすることで方向性が見えて、より具体的に進めるきっかけになったと思いました。
- ・他校の役員さんと話す機会があり、刺激を受けました。また本校の取組についても聞いていただけたのでありがたかった。
- ・やっている本人が楽しまなければというのが本当にその通りだと思いました。また、親や大人の姿を見て子どもたちは判断するのもそうです。丹後を元気にするには私たちが元気なことが必要条件だと感じました。
- ・親だけの取組ではなく、子どもも巻き込むことで楽しめるようになるかもしれない。そういう取組で親同士、親子のつながりづくりになると感じました。
- ・対話を通して、それぞれの思いを共有することができた。保護者だけでなく地域も巻き込みながら一体となって取り組む必要性を感じた。PTA活動のあり方について話し合う良い機会となった。

